



ジャパニーズ・ウイスキーの父 竹鶴政孝の物語

「日本で本格ウイスキーを作りたい」。その一念でスコットランドにウイスキーづくりを学び、日本のウイスキーの父と讃えられる竹鶴政孝氏。ウイスキー製造の地として迷うことなく選んだのが、北海道積丹半島の入り口にある余市の地だった。妻リタという伴侶に恵まれてウイスキーづくりに捧げたその生涯の足跡と功績は、今も余市の地にしっかりと刻まれている。



▲創業当時の全社員。建物は旧事務所で、歴史を伝える貴重なものとして蒸溜所構内に今も保存されている

▲貯蔵庫と蒸溜棟内部。竹鶴氏の生家が造り酒屋だったため、もろみを蒸溜するポットスチルには注連縄が飾られている

本物のウイスキー造りを日本で

JR余市駅を背にして立つと、通りの200mほど前方に石造りの楼門と左右に延びる赤い屋根の建物が見える。ニッカウキスキー株式会社の創設者、竹鶴政孝氏が建設した北海道工場・余市蒸溜所で、平日でも見学に訪れる観光客がひきまきらない。広大な敷地に足を踏み入れば、煙抜き赤い小屋根を戴いたキルン塔や

蒸溜棟、貯蔵庫など石造りの建物が緑のなかに点在する、美しい光景が広がる。創設当初の小さな旧事務所や瀟洒な旧竹鶴邸なども遺され、ウイスキー博物館も設けられていて興味は尽きない。

竹鶴政孝氏は、1894(明治27)年、広島県の造り酒屋に生まれている。しかし、大阪高等工業学校(現・大阪大学)で醸造を学んでいる時に洋酒に興味をもち、当時の大手

洋酒メーカー、摂津酒造に自らを売り込んで入社。ほどなくスコットランドに留学してウイスキー製造を学ぶ機会に恵まれ、1918(大正7)年から1921(大正10)年にかけて渡英した。実は当時日本で造られていたウイスキーは、アルコールに糖分や香辛料を調合したイミテーション。誰も本場のウイスキー造りを経験した者はなく、ヨーロッパまで船で何カ月もかかった時代で、政孝青年がこの

Family 2014 360号

CONTENTS

● 支部見聞録 (北海道支部) From 余市町 [秋季大会拡大版]	2	● 講演録	16
● LS研総合発表会2014	6	株式会社村上憲郎事務所 代表取締役 村上 憲郎 氏	
● ICT基礎講座Close-Up ユーザーエクスペリエンス (UX)	10	● 豊かに生きる誌上セミナー	18
● トップは語る	14	HUMAN HUMAN 朝日酒造株式会社 取締役社長 細田 康氏	
株式会社サンプラザ 代表取締役社長 笠原 雅志 氏		● Family's Information	19

チャンスにどれほどの意気込みと熱い思いを燃やしたかは想像に難くない。

帰国後、政孝氏は本格ウイスキーの製造を計画していた寿屋(後のサントリー)の鳥井信治郎に乞われて入社し、山崎醸造所の建設を手掛けて国産ウイスキー第一号「サントリー白札」を世に送り出した。その後サントリーを退社し、ついに自分が思う通りのウイスキーを造りたいという念願を叶えて1934(昭和9)年に自ら創設したのが、この余市の蒸溜所なのだ。

スコットランドに似た理想の地へ

ためらうことなく余市を選んだのは、この地の気候風土がスコットランドに似ていたからだだったという。スコットランドの年平均気温は8度で、余市の平均気温も同じくらい。ウイスキーの豊かな香りと味わいは、こうした冷涼な気候のなかでゆっくりじっくり熟成するからこそ、醸し出される。

「いい水に恵まれていること、さらに樽は乾燥を嫌いますから、湿潤であることも大切です。余市は三方を山に囲まれて海に面し、4本の川が流れていて、朝夕は霧が立ちこめ、冬には雪が降ります。加えて北海道ではモルトの原料である大麦も実ればそれを燻すピート(泥炭)や蒸溜の燃料にする石炭、樽材のミズナラも豊富。ウイスキー造りには素

晴らしい条件が揃っていました」と北海道工場の総務部長、古屋野義一さんはいう。

ウイスキーは売り出すまで年月がかかるので、それまでの糧として、まず余市の特産物だったリンゴをジュースにして売り出した。そのため、当初の社名は「大日本果汁株式会社」。ちなみにこの「日」と「果」が後に社名のニッカとなる。理想を追った政孝氏は、常に本物指向、品質第一を貫こうとした。ウイスキーだけでなくリンゴジュースも同様で、100%果汁で造ったが、割高なうえ濁りが出るなどして思うように売れず、「赤字会社」と囁かれたそうだ。「とはいえ、多くの方々に楽しんでいただくため、手頃な価格でいいものを提供することにも心を砕きました。本人も、ハイニッカを晩酌にしていたそうです」。

余市蒸溜所には今も政孝氏以来の品質へのこだわりが生きている。蒸溜に使うポットスチルも今はスチーム加熱がほとんどになっているが、余市では石炭による直火炊きだ。ほぼ10分おきに係員がスコップで炉に石炭を投入している。火加減のコントロールが難しく、労力も大変だが、800度にもなる釜底にもろみが触れて焦がしたような香ばしさが加味され、力強く香り高い原酒が出来上がる。貯蔵庫の床は土のままで樽は2段までしか積まないのも、温度が上がりにくく、樽も乾燥しにくいからなのだ。



▲旧竹鶴家玄関は夫人の生家を模している。下は余市移住まで5年ほど暮らした鎌倉時代の写真。夫妻の物語は9月末からNHK朝の連続テレビ小説で放送

政孝氏とリタ夫人が余市に咲かせた花

今や世界に認められている、ジャパニーズ・ウイスキー。その礎を築き、育てた政孝氏がウイスキーづくりの夢を追い続けられたのは、リタ(ロベルタ)夫人の存在が大きかったといわれている。スコットランド留学中に25歳と23歳で出会った二人は、周囲の反対にも粘り強く対し、リタ夫人は里帰りも困難な遠い異国に嫁いで積極的に日本に溶け込もうと努力を続けた。帰国後の大不況のなか、摂津酒造が本格ウイスキー製造を取りやめたため政孝氏が退職・浪人していた間も励まし続け、夫人がピアノや英会話を教えて支えた。生徒は上流家庭の子女で、後にその人脈が起業の際にも生きたという。「竹鶴政孝が日本のウイスキーの父なら、リタ夫人は日本のウイスキーの母です」と古屋野さんはいう。

リタ夫人はスコットランドによく似ている余市をこよなく愛した。夫妻は釣りやスポーツにも興じてこの地での暮らしを楽しみ、スキーのジャンプ台を町に寄贈し、リタ幼稚園をつくるなど、町のために様々に尽力した。ニッカの蒸溜所は、今では余市といえば誰もが真っ先に思い浮かべる、この地になくはならない存在だ。スコットランドで育んだ二人の夢は、北海道の一隅に見事に根づいて美しい花を咲かせ、世界に冠たる名ウイスキーを世に送り出している。

協力/ニッカウイスキー株式会社、参考/「ウイスキーと私」竹鶴政孝

別冊 FROMはウェブサイトへ

eふあみり もあわせてご覧ください!

<http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/>



明治期に始まる余市のリンゴ産業についてご紹介。



▲ポットスチルは2度の蒸溜のために今も稼働。ほぼ10分おきに石炭がくべられる



▲蒸溜所の正面入り口。駅から向かうと正面に見える
◀構内には美しい風景が広がり、観光地としても人気だ
▼竹鶴氏が長年の夢を叶えた第1号ウイスキー



▲突堤から見た余市の町。湿潤な土地で、霧が低空まで下りてくることも多い



FUJITSUファミリー会 創設 50周年記念

2014 年度秋季大会のお知らせ

開催日 2014年10月23日(木)～24日(金)
 会場 ロイトン札幌 (北海道札幌市)
 定員 1,500名

FUJITSUファミリー会は、2014年5月で創設50周年を迎えました。1964(昭和39)年に37会員で発足したFUJITSUファミリー会(当時名称「FACOMファミリー会」)は、会員の皆様をはじめ歴代役員の皆様のご支援のもと、約3,400会員を擁する国内最大規模の情報通信システムのユーザー団体になりました。記念すべき2014年度の秋季大会は、北海道にて「創設50周年記念大会」として開催します。50周年ならではのさまざまな企画を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

10/23(木) 式典、記念 / 特別講演、懇親会

■スケジュール

12:30～ 受付	13:15～ 式典	14:20～ 特別講演	15:30～ 記念講演	16:45～ セッション1～3 (3会場同時進行)	18:00～ 懇親会 (立食パーティー)
--------------	--------------	----------------	----------------	---------------------------------	----------------------------

*午前中に、式典に先立ってアーリーセッションを開催します(9:30から受付いたします)。

北海道ならではの
アトラクションや地元産
品等の抽選会もあります。
どうぞご期待ください。

記念講演

『笑いはこちらのビタミン剤』

落語家・上方落語協会会長
六代目 桂文枝氏



数々のレギュラー番組を司会し、中でも「新婚さんいらっしゃい!」は2010年1月に放送40周年を迎え、娯楽番組の記録を更新中。81年に創作落語を定期的に発表する「落語現在派」を旗揚げし、現在までに200を超える作品を発表。2000年3月から「桂三枝の創作落語125撰」と銘打った独演会を毎月開催、2003年10月に完結し、そのフィナル公演で二度目の芸術祭大賞を受賞した。日本国内はもとより、アメリカ、オーストラリアなど海外でも落語会を開催する傍ら、俳優業も精力的にこなす。

特別講演

『生きることは食べることだ!』

タレント・TEAM NACS リーダー
森崎博之氏



1996年、北海学園大学演劇研究会出身の大泉洋・安田顕・戸次重幸・音尾琢真と共に演劇ユニット「TEAM NACS」を結成、リーダーを務める。多くの作品の脚本・演出を手がけ、結成から年々動員数を増やし、2012年の「TEAM NACS ニッポン公演『WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン』」では全国18カ所にて70,000人を動員した。個人では、HBC「森崎博之のあぐり王国北海道」に出演中。北海道フードマイスター、ごはんソムリエを取得し、食育の大切さ、北海道の素晴らしさを講演会などでも発信している。

アーリーセッション 10:00～12:10(受付9:30)

若手を中心に先着50名とさせていただきます。

交流・共感・感動 ～未来へつなぐ～

「～夢実現～ 新体操のアスリートからアーティストへ
そして、新体操の舞台は青森から世界へ」

青森山田学園 企画広報部 企画広報課長 荒川栄氏
青森山田高校男子新体操部監督



シルク・ドゥ・ソレイユで活躍するパフォーマーも輩出した青森山田高校男子新体操部監督でもある荒川氏が語る「夢実現」に傾ける情熱と揺ぎない信念。日本発祥の男子新体操、一からチームをつくり上げ、全国高校選抜大会優勝に導いた若き指導者 荒川氏の創部当初からの変わらぬ熱き思いに「共感・感動」いただける参加者交流型セッションとなっています。

[特別ゲスト] 世界初! Dance×男子新体操プロ集団『BLUE TOKYO』から荒川氏の教え子でもある大舌 恭平氏も特別出演!

セッション1

『お客さま密着! で地域に貢献する十勝バスの経営』
～40年ぶりの利用者増加の実例～

十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾氏

セッション2

『ヒト・コト・モノに着目した属人化が運用保守に与える影響の分析と対応』
～時間の経過とともに広がる属人化現象、私たちはどう立ち向かうか!～

～LS研究委員会2013年度 Leading-edge Systems 研究 最優秀賞～

セッション3

『ICTで地域再生～グローバルに学ぶ～』

富士通株式会社 顧問 伊東 千秋氏

10/24(金) 交流行事(オプション)

- 視察 A (日帰り)** 北の大地のオリンピック体験コース
～ソチオリンピック日本代表の船山弓枝さんと一緒にカーリングを体験!
- 視察 B (日帰り)** 美唄・砂川コース
～北海道が生んだ芸術とスイーツを堪能!
- 視察 C (日帰り)** 積丹・余市コース
～積丹半島の贅沢アワビを堪能!
- 視察 D (日帰り)** 旭山動物園コース
～動物園と地ビールで旭川を満喫!

- 視察 E (1泊2日)** とかち満喫コース
～コースS とかちの大自然の魅力を十二分に満喫!
～コースG とかちの大自然とゴルフを満喫!

ゴルフコース 桂ゴルフ倶楽部

〈創設50周年記念企画〉

デジタルフォトコンテスト 作品募集!!

50周年記念企画として「デジタルフォトコンテスト」を開催します。
応募テーマは、50周年メッセージである『つなぐ』。
応募作品は随時、会報 Family の Facebook ページに掲載。
受賞作品は、次号会報 Family361号の誌面にて発表します。
たくさんのご応募をお待ちしております。

募集テーマ 『つなぐ』 人、自然、日常風景、ペット、野鳥、
のりもの、スポーツなど対象は自由。

『つなぐ』イメージ例：家族、ペット、仲間、同僚、上司と部下、握手、商店街、緑日、祭り、虹、
スポーツ、線路、道 などイメージできるものすべて。

応募締切 2014年9月16日(火)

■応募資格

FUJITSU ファミリー会の会員であれば、どなたでも
ご応募いただけます。

■応募規定

- ・応募は、お一人様何点でも可能です。
- ・応募者ご本人が撮影された作品かつ、他のコンテスト等に応募されていない作品に限らせていただきます。
- ・画像ファイル形式は JPEG、サイズは 5MB 未満とさせていただきます。

■審査・発表

応募作品の中から、会報 Family 編集部が審査を行います。
入賞作品は会報 Family361 号誌面にて発表いたします。

■応募上の注意事項

- ・著作権は応募者(撮影者)、使用権はFUJITSUファミリー会とさせていただきます。
- ・被写体が肖像権を有する場合は、応募者側で権利関係処理いただいた上でご応募ください。

応募者全員にもれなく記念品をプレゼント!!

(※記念品は応募作品数にかかわらず、お一人様1点とさせていただきます。)

各賞

- ・最優秀賞 [1 作品] ……………Kindle Fire HDX 7 タブレット (16GB)
- ・優秀賞 [3 作品] ……………Kindle Paperwhite
- ・ファミリー会会長賞 [1 作品] …特別記念品をご用意、お楽しみに!



Kindle Fire HDX 7



Kindle Paperwhite

▶ 次号会報 Family 361 号は創設 50 周年記念号として特別企画の内容でお届けします。



応募方法



ファミリー会ホームページ
「デジタルフォトコンテスト作品募集!!」
投稿フォームよりご応募ください。

<http://jp.fujitsu.com/family/ho/photocontest/>

←左記QRコードよりアクセスできます。

閲覧方法



応募作品は、
Facebook「会報 Family (デジタル写真館)」
に随時掲載していきます。

<http://www.facebook.com/photo50th>

←左記QRコードよりアクセスできます。



表紙のこぼ (日本の水と森シリーズ)

別府弁天池 山口県 美祿市

日本最大のカルスト台地・秋吉台に位置する湧水。奈良時代、農地用水源に困っていた別府の長者が夢のお告げに従い、社を建立して祭りや神楽を奉納したところ、立ちどころに水が噴き出たという伝説が残る。碧色に輝く水は人間が美味しいと感じるカルシウム含有量20ppmの水質で、飲料、鱒の養殖、水田に利用されている。この地では今も毎年9月になると豊年満作を願ひ、神の恵みである水に感謝する別府弁天祭りが行われている。